



～多分野にデジタル変革を！～  
のがたDX「3本の矢」推進プロジェクト



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



福岡県直方市



## 地域特性



福岡空港まで1時間  
北九州空港まで40分



- ・ 福岡県の北部に位置し自然豊かな地域
- 人口：55,857人（2022年3月末時点）
- ・ 交通：福岡市、北九州市から1時間圏内
- ・ 地理：市中心部に九州主要河川で2番目の長さの遠賀川が流れる  
市東部には平均600m級の山々が連なる（北九州国定公園）
- ・ 主な産業：製造業、医療・福祉、卸売・小売業
- ・ 特徴：旧長崎街道沿いに連なる歴史ある商店街 石炭全盛期に繁栄

## 課題

### 経済面

- ① 市内産業のDX導入遅延による競争力低下
- ② 新分野への事業展開の遅延
- ③ 公共交通機関の採算性低下
- ④ 駅前商店街の衰退

### 社会面

- ① 医療費の高騰
- ② 若者の社会減
- ③ 市民のITスキル低迷

### 環境面

- ① 災害の危機対応、市民環境意識の低迷
- ② 循環型社会の普及・啓発
- ③ 地球温暖化の対策



## 経済面：産業変革による地域経済の再生

- ① 市内産業の競争力向上
- ② 市内企業の事業拡大
- ③ MaaS推進によるQOL向上及びCo2削減
- ④ IT事業者誘致による中心市街地の賑わい創出



## 社会面：デジタル技術を活用した暮らしの利便性向上

- ① 全世代型健康づくりの推進
- ② IT教育推進 (プログラミング等)
- ③ デジタルデバイド対策



## 環境面：DXによる脱炭素・地域レジリエンスの推進

- ① レジリエントなまちづくりの推進
- ② 循環型社会形成推進プロジェクト
- ③ カーボンニュートラルの推進
- ④ 脱炭素社会の構築に向けた公共施設整備





## 事業名

～市民と共に持続可能な2030を目指して～

## のおがた共創推進プロジェクト

### 1 のおがたSDGs推進プラットフォーム創設

#### 背景

- ◆ 「SDGs」という言葉の認知度は浸透⇒具体的な行動へ
- ◆ 単体での取組⇒連携した取組へ

### 2 カーボンニュートラル推進プラットフォーム構築

#### 背景

- ◆ 規制やルールが決まっていない、情報がない  
⇒カーボンニュートラルが進まない
- ◆ サプライチェーンからの除外リスクやESG投資への対応が急務  
⇒地域経済の持続可能性向上が必要

### 3 災害時情報共有プラットフォーム構築

#### 背景

- ◆ 従前の自然災害への対応＝ハード事業中心（堤防整備、ポンプ施設の整備）  
⇒ソフト面に注力 ①行政の災害対策・対応の効率化及び高度化  
②住民への効果的な情報伝達及び官民でのデータシェア



### 概要

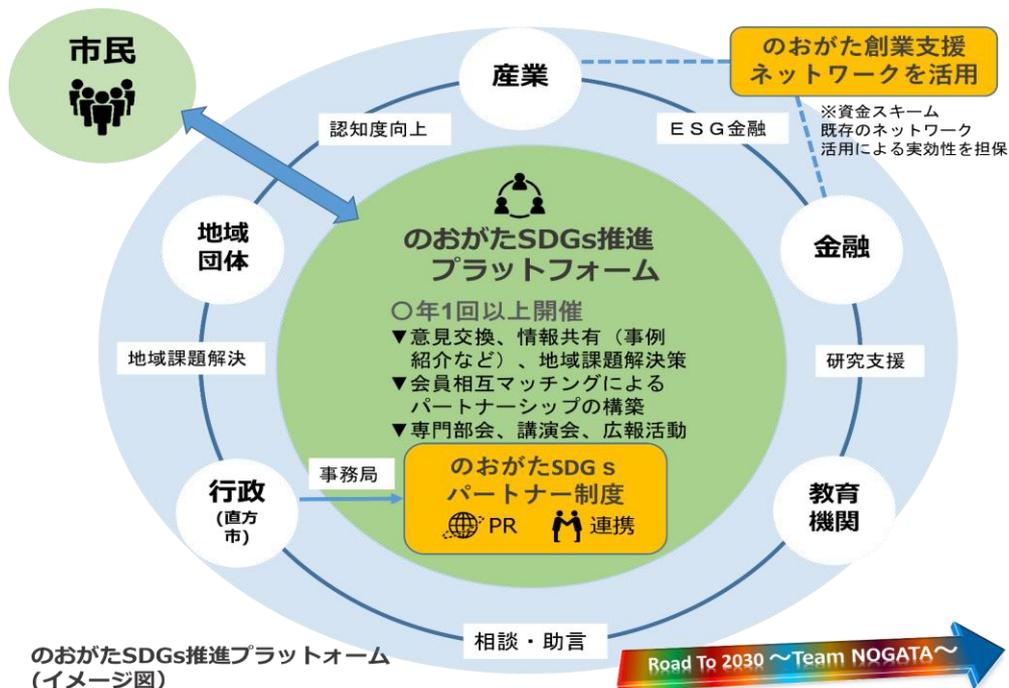
- ◆ 共通の課題を抱える団体を線でつなぐ  
→ 「**パートナー制度**」 「**部会設置**」
- ◆ 各部会を連携 → 「面」 = 「**プラットフォーム**」

### プラットフォームの取組

- ① 取組の見える化
- ② 各主体間の連携・情報共有
- ③ マッチングによるビジネス創出

### プラットフォームの役割

- ① 本プラットフォーム・部会の運営
- ② SDGsの市内での認知度向上
- ③ SDGs達成に向けた加入団体等の取組の見える化・情報共有
- ④ 地域課題の解消に向けた加入団体同士のマッチング等の機会創出
- ⑤ 地域金融機関との連携による地方創生SDGs金融の推進





行政

啓発・情報共有

実証  
研究

企業

意識啓発



◆企業の「ESGスコアを測定するスキーム」や「J-クレジット」制度等の情報共有や活用に向けた支援

◆市有施設敷地内において、発電・給電・利用時における直流・交流の電力変換により生じる給電ロス削減に向けた直流給電網を活用した電力貯蔵システムの実証研究

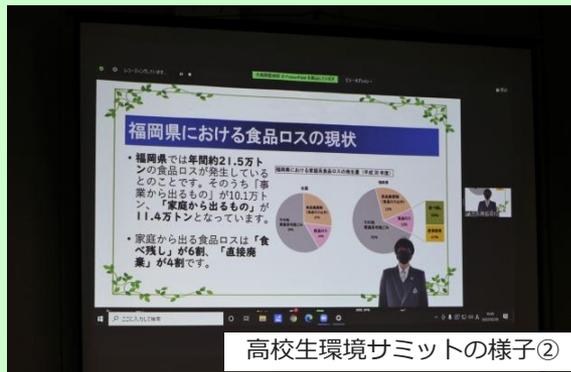
◆中小企業脱炭素セミナー  
(令和4年3月17日開催)

高校生など

政策提案や企業提案など若者と行政・企業の連携を目指す



高校生環境サミットの様子①



高校生環境サミットの様子②

- ◆若年世代への意識啓発
- ・市内の高校4校と連携した**環境サミット**の開催(令和4年2月25日開催)
- ・小学校や幼保施設への出前事業

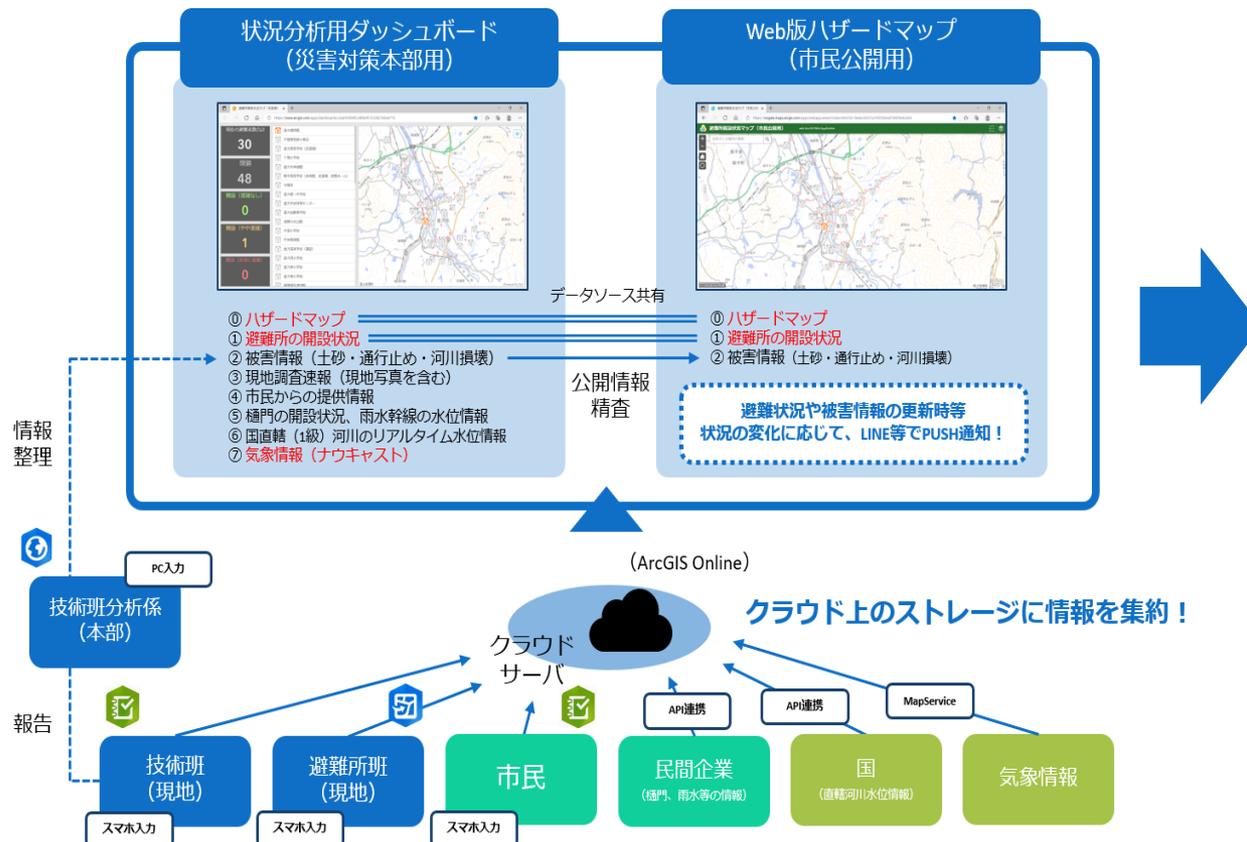


### 概要

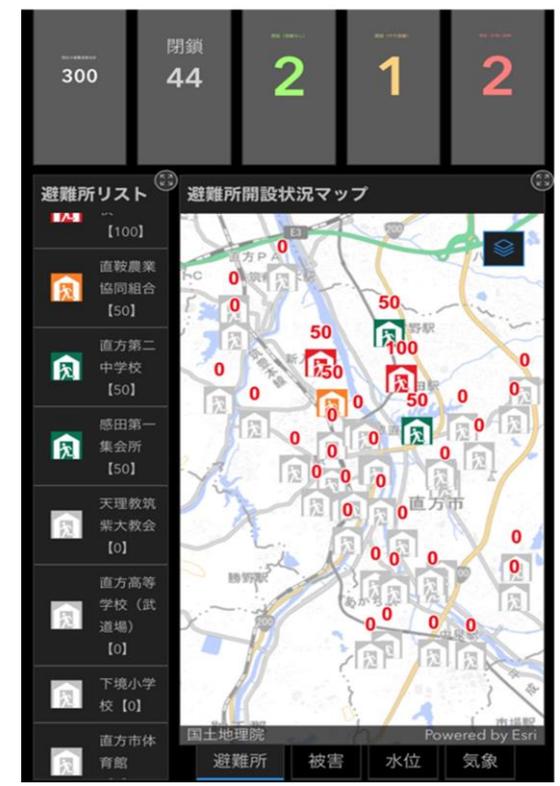
マクロレベルからミクロ（ローカル）レベルまで、リアルタイムな情報を集約  
⇒行政施策の意思決定・判断に活用、個人や民間事業者に発信・伝達

### 手法

- ① **データ収集**：ハザードマップ、被害発生情報、現地調査速報、実証実験中の樋門の開閉情報や水位情報、雨水幹線の水位情報を踏まえた一連の仕組み（消防やSNSの情報も組み合わせる）
- ② **情報整理**：アプリケーション（ダッシュボード）上に「情報」として一元化表示・共有
- ③ **データ・クレンジング**：タイムラグや重複した情報、一部不正確な情報を整理し公開
- ④ **周知方法**：本市公式LINEを活用。データについては、オープンデータ化を構築



▼市民公開用8版(スマートフォン用)





# 経済、社会、環境の各側面の相乗効果

## 経済

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

**【取組課題】**  
産業変革による地域経済の再生

### 【対応】

- ① 公民学連携による市内産業の競争力向上
- ② 地域課題解消の事業化を通じた市内企業の事業拡大
- ③ MaaS推進によるQOL向上及びCo2削減
- ④ IT事業者誘致促進

### 社会面の相乗効果

IT事業者誘致の推進によるITスキルを有する市民の増加（デジタルデバイド解消）

### 経済面の相乗効果

地域課題解決を通して新分野展開による市内産業強化及び雇用機会の確保

## 社会

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

**【取組課題】**  
デジタル技術を活用した暮らしの利便性向上

### 【対応】

- ① 全世代型健康づくりの推進
- ② IT教育推進（プログラミング等）
- ③ デジタルデバイド対策

～市民と共に持続可能な2030を目指して～  
のおがた共創推進プロジェクト

- ①のおがたSDGsプラットフォーム創設
- ②カーボンニュートラル推進プラットフォーム構築
- ③災害時情報共有プラットフォーム構築

### 環境面の相乗効果

市内中小企業へのカーボンニュートラルの連携推進により市内CO2排出量削減

### 経済面の相乗効果

CO2排出の少ない交通手段への転換による公共交通機関の採算性向上

## 環境

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

17 パートナーシップで目標を達成しよう

### 【取組課題】

**DXによる脱炭素・地域レジリエンスの推進**

### 【対応】

- ① レジリエントなまちづくりの推進
- ② 循環型社会形成推進プロジェクト
- ③ カーボンニュートラルの推進
- ④ 脱炭素社会の構築に向けた公共施設整備

### 環境面の相乗効果

デジタルデバイド対策推進により災害被害のリスク軽減

### 社会面の相乗効果

自主防災組織の設立・活動など地縁組織活性化によるSDGs達成に向けた取り組みの強化・推進



# 自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

SDGs推進プラットフォームを中心に各プラットフォームが連携するとともにDXを実装することで、運用面・資金面も踏まえた自律的好循環を実現し、自走化を図る。

## 地域課題解決

災害時情報共有プラットフォーム



IoT Acceleration  
Nogata city Lab

連携

SDGs推進プラットフォーム

公民学連携を推進  
SDGsパートナー制度



DX

DX



のがた創業支援  
ネットワークの活用

連携

企業版ふるさと納税  
ESG投資

カーボンニュートラル  
推進プラットフォーム



将来を担う子どもたちのため、そして、未来の私たち自身のため将来にわたって  
愛着をもって生活できるまち「SDGs 未来都市のおがた」を目指して

## 未来へつなぐ「ひと・まち・自然」

ご清聴ありがとうございました

平成4年から開催している「のおがたチューリップフェア」  
1,000人を超えるボランティアの方々の協力によって植えられ  
た13~15万球のチューリップが、遠賀川の河川敷に咲き誇る。